

# 謹賀新年



昭和58年新年号  
第377号

春 迎

逆境を超え 長期展望の 町づくりを



町長 木村 誠

謹んで昭和五十八年の新春をお慶び申し上げます。新しい年は高度成長社会から、低成長社会への移行という時代の大きな流れの中で、国の財政は極度に危機的状態となり、この転換期を契機にして長期的な展望にたつた財政再建と併せ徹底的な行政財政改革本番の年を迎えることになりました。

政府は、昨年夏の第一次答申以後の我が国の行政をめぐる環境が、さらに悪化していることを強調し、このまま放置しておけば、おそらく数年先には全く手の付けられない状態になることは必至であるとし、将来活力ある日本を造りあげるためには今程大事な時はなく、又これを絶好の機会として改革推進のため、前年以上に国民の深い理解と強力な支援を求めております。

地方自治体即ち東郷町の財政におきましても、私が町長に就任した昭和五十年以降慢性的な財政難が続くなかで、それを補うための借金財政に頼らざるを得ない状況にあります。一方においては、高台化社会の到来、米の消費減少に伴う水田利用再編対策、更には地方の時代と言われる今日、福祉優先の行政需要は質量共に高度化し複雑多様化の度を加えつつありそのいづれも早急に根本的な対応を求められるものばかりであります。

しかし、私はこのような時こそ一つ一つの問題を的確に把握し正しい判断と展望をもって、新たな時代にふさわしい適時適切な行政の展開につとめ、後世に悔いのない業績を残さねばならないと、決意しているところであります。

幸い、これまで一貫して掲げてきた「農林業と商工業の振興」「活力ある教育の確立」「社会資本の整備充実」「へき地の振興」「企業誘致」の五つの行政目標は二期八年の任期満了を前にその成果の如何を、ふりかえります。町民各位と町議会の御支援により特別な飛躍はないといたしましても、本町の貧弱な財政力においては、その負担の能力をはるかにこえる実績をあげることができたものと感謝しているところであります。

また、八年前最も緊急を要した町道の整備については、他の先進団体へ追いつけ追い越せの行政努力が実り、県内町村では最もすぐれた道路整備の水準に達しております。そしてこれ等道路網の整備は他の農林、福祉、教育等すべての行政機能を高めるなど大きな役割を果たしつつあります。

又本町の基幹産業である農林業については、常に行政の最優先に位置づけ、不安定な国の農政の中であって独自の判断を加えつつ、

所得増加に結びつく農業経営の合理化をはじめ、農道及び水路の改良新設について、必要な国庫の制度事業は余すところなくこれを確保して、負担の軽減を図りながらその促進に努めてきました。

昭和五十四年から本格的に着手した基盤整備事業は、そのおくれを取りもどすためと負担の軽減を図るため、各種制度事業の採択を受けるのに最も苦心したものであります。一応軌道にのりました今後は可能な限り短期間に完成させることと、土地改良区の運営指導が大きな課題であると思っております。

これと併せて、林道振興についても計画的な林道開きや造林の拡大に努力した結果、人工林率も七〇％に達し、これも近時伐期を迎えんとしております。

による機能の充実、歯科診療施設の設置、交通事故等の突発災害や急患に対しては、広域行政に基づく救急車の派遣措置を講じるほか高台化社会への対処として老人クラブ活動助成、老人ホームの施設整備につとめてきましたが、一人暮らし老人や児童、母子、身障者等の社会的弱者の立場にある方達の福祉については、夫々の環境に応じて不安のない生活ができるよう現行の助成措置を更に強化すべきであると存じております。

尚、全町民から大きな期待が寄せられており、東郷町発展の基礎創りと考えます。東洋工業の誘致はこれまでの努力が漸く実り、昨年末、流通センター進出が決定し十二月三日、松形県知事立会のもとに東洋工業と東郷町との間で立地協定書の調印式を行い、本年十一月操業の運びとなりました。

今回立地することとなった、車輛流通センターは生産工業と違って大きなメリットは期待できませんが、私としては当初予定した工場であり、ましてや東郷町民の強い要請に対し、この厳しい不況にかかわらず応えてくれた東洋工業の誠意は、風雪に耐えて十年漸く一つの光明を見出したものとして皆さんと共に卒直に、喜びをわかち合いたいと思っております。

何んとしてでも私の力で果さねばならないと、その責務の重大さを痛感いたしております。

新年のごあいさつ

議長 矢野貞夫



輝かしい昭和五十八年の新春を迎え、東郷町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

顧みますと、昨年は第二臨時行政調査会の基本答申を受け、本格的な行政改革を始め、財政再建に向けて国民一体となり、その第一歩を踏出したのであります。ついに百兆円近い国債残高を生じ、増税なき財政再建、五十九年度赤字国債脱却の二大公約の実現を達成するに至らず、その政治責任をとって鈴木内閣が交代し、新しい鈴木政治の継承を強調する中曽根内閣の誕生を見たのであります。しかし、政局は一段とその厳しさを増しており、国民生活に与え

と御協力を賜りますようお願い申し上げます。新しい昭和五十八年といわれませんが、皆さん方におかれては、最良の年となりますよう、お祈り申し上げます。

る諸般の影響は大なるものがあると思われま。このような情勢の中で本町では町民の住みよき豊かな環境づくりのため、積極的な施策が遂行され他町村に見られないような社会資本(学校施設・福祉施設・道路網の改良舗装)の整備が、概ね完成に近い程充実してきています。

しかし反面、そうした積極的な施設等の整備充実が計られたため本町の一般財政状況は、かなり厳しい状態にあり、公債(借金)残高二十一億八千八百万円、経常収支比率八三・八％に達しています。このような財政状況を憂慮して議会議員の定数削減を求め住民の直接請求が、前後数回にわたり町長の賛成意見を付して提案されたことは周知のとおりであります。議会としては、その都度慎重に審議し、関係町村の実態を調査しあるいは本町の行政が、積極的な施策を行うことが住民の幸せにつ

年頭所感

教育長 木村 映一



謹んで新春のお喜びを申し上げます。行政改革の初年度として幕明けした昭和五十七年も冷夏、再三にわたる台風の襲来による災害の発生等、一方では第二次石油危機を契機とした世界経済の渦中で、

ながることであり、多少の財政負担は当然の処置であるとして、本町議会独自の結論に達したのであります。

すに、法律で定める二十二名を条例によって十八名に四名を減じてあり、これ以上の減員は代議制民主主義の根底をくつがえすものであり、かえて議会機能と効率の低下を招き、住民意思が行政へ反映されにくくなり、正常な行政執行が危惧されるとの結論に達し毎回とも否決としました。

また五十八年度は、本町の主要産業であります農林業においても農畜産物の輸入自由化、枠の拡大農林産物の過剰基調の中で価格の低迷で減少、もしくは停滞を余儀なくされてお。農家経済も農業所得の停滞、国内景気の不調による農外所得の不振が続き、財界やマスコミ等の農業・農政批判が高まっており、この難局に対し私共町民は、農林業の意義について正しい理解を求めて行かなければなりません。

このように厳しい時期に、かねてより町民の願望でありました東洋工業の進出計画が、具体的なものとして動き出し、計画の第一段階として「流通センター」が建設され、本年十一月には操業開始されることは、本町の振興に活力を与えることになり、真に喜ばしいことであります。

さらに今年は、町民にとつても景気の低迷など私達を取り巻く生活環境は厳しい対応を迫られましたが、幸い、本町においては、町民の不断の努力と英知によって、町勢は着実な伸張を遂げ大過なく新年を迎えることができました。これは同慶に堪えませぬ。

「一年の計は元日にあり、百年の計は教育にある。」と言われておりますが、今までの歩みを振り返りその反省にたつて新しい心構えをこの節目に改めて自覚し、本町教育の正しい姿を展望していかなければならないと存じます。

四年に一度与えられた選択の権利が行使できる重要な年でもあります。

町民の意思によって、向う四年間の町政の進路が決定される訳であります。議会としても残された任期を、町民の代表として是非々々主議を保ちながら、ともどもに住みよき豊かな町づくりと、町民の幸せのために最善の努力をいたしてまいりたいと念じているところであります。

町民のみならず、なお一層の御指導と御協力をお願い申し上げます。ながら、今年もみなさまにとりまして最良の年になりますよう心から祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

な青少年の育成は今や緊急な国民的課題であります。現状を見直し人ごとでなく、一人ひとりの認識を新たにして、従来以上に地域ぐるみの対策を構じていきたいと思えます。

学校教育については、現在越表小学校々舎を改築中であり、本年二月の完成をもって総ての学校が新装成り、新しい教育課程の主旨にそって豊かな人間性の開発個性、能力に応じた教育、自ら考え正しく判断し行動することのできる児童生徒の育成をめざして鋭意努力を重ねておりますのでさらに一層の御協力をお願いいたします。

社会教育については、社会構造の急激な変化や高学化社会への進

行によって生涯教育に対する要請は急速に高まっておりますが、このためには、社会教育施設の整備充実、各種講座の開設、指導者の確保等生涯の各期にわたって学習活動や、体育、スポーツの機会を設定し、健康な体、高い知性、豊かな心の陶やに最大の努力を払っていく所存であります。

行革、マイナスイニシアティブと誠に厳しい時代に直面いたしてありますが、教育の遅滞はひとときもゆるがせにできない百年の大計であります。本町教育の長期展望にたつて施策の推進に努力する決意であります。町民の皆さんの御理解と御協力を切望いたしまして新年のあいさつといたします。

## 二十歳と選挙権 政治参加の道を大切に

二十歳になると生ずる権利の一つに選挙権があります。わたしたちは、選挙権を行使することによって、国の政治をはじめ県や町の地方の政治にも参加することになるのです。

しかし、実際に投票できるようになるには、「選挙人名簿」に登録されていなければなりません。町の選挙管理委員会は、本町に住所があり、かつ、三か月以上住民基本台帳に登録されている者の中から満二十歳以上になった者

毎年九月（選挙があればその選挙の直前）に選挙人名簿に登録することになっております。

一度選挙人名簿に登録されると住所を移動しない限り永久に登録されます。引っ越しなどで住所を変えた場合は、必ず住民票の移動届を出してください。そのままにしておくと、選挙権の行使ができなくなってしまうので、せつかく「投票権」を得ても、投票しなければ宝の持ちぐされ。立候補者をよく知り、自分の代

弁者としてふさわしい人を選びましょう。

候補者を知り、投票の手がかりには、掲示板に掲示されるポスターのほか次のようなものがあります。十分に活用しましょう。

- 選挙公報
- 街頭演説
- 個人演説会（ポスターで日時、場所が知らされる）
- 立会演説会（右に同じ）
- 政見・政歴放送（町選挙管理委員会）

# 進出 開始

東洋工業の工場立地は町民の長い間の願望であり、かつ、町政策の重点項目の一つでもあります。既に新聞・テレビ等のニュースで御存じと思いますが東洋工業の町内進出の第一階段として、中野原地区にマツダ自動車の流通センターを建設することが決定し、昨年十二月三日県庁において県知事立会のもとに東洋工業株式会社と東郷町長並びに東郷町土地開発公社理事長（町長が兼務）との間に企業立地に関する協定の調印式が行われました。

マツダ自動車流通センター建設と、東洋工業誘致の経過

町は、昭和四十八年東洋工業の南九州地区販売拠点の建設計画をキャッチ、その誘致に乗り出しましたが計画は更に発展し、生産部門の工場誘致を企画、同年、農村工業導入地域の指定を受け用地取得に着手、工場用地として三二ヘクタールの土地を確保し、企業誘致の受け入れ体制を整えましたがその直後に第一、第二と世界的なオイルショックに見まわれ自動車業界はその影響を正面から受けることとなり極度の不振を強いられ

ることとなりました。そのために町が考えていた生産部門の工場はおろか当初計画していたモータープールの立地さえ延期せざるをえない状況になったのであります。県の協力支援を受け毎年ねばり強く誘致の交渉を続け現在に至ったのであります。

昨今の経済状況は内外ともに厳しく特に貿易摩擦等で自動車業界は各国から制約を求められている状況であります。その様ななかにあつて本町に南九州を一円とする流通センターが建設されることは国内需要の拡大を図る企業意欲の

現われであり、更には、本町の企業誘致への足がかりが出来たとして県当局も高く評価しており、町としても慶ばしいことと歓迎しているところであり、又、調印式に際し、県知事、町長はともに残り用地への生産部門の早期立地を強く要請したのに対し、会社側から引き続き検討するとの応答がありました。町としても立地の実現のためマツダ自動車への支援体制づくりにつとめ、誘致推進を一層強化する必要があります。

東洋工業株式会社とは、東洋工業株式会社は、マツダ自動車（MAZDA）を主に生産している企業であります。自動車ではトヨタ自動車、日産自動車と並

# 東洋工業いよいよ 流通センターが11月操業



世界的メーカーであり現在、「ファミリア」「カペラ」「コスモ」「ルーチェ」「サバンナ」等の乗用車のほかトラック、マイクロバス等の自動車と併せ、さく岩機工作機械等も生産しています。

本社は、広島県安芸郡府中町にあり、工場は本社に隣接する広島工場と、山口県防府市にある防府工場が主なる工場であります。

会社創立は大正九年、資本金四二七億円で年間約一三〇万台の自動車が生産されています。

今回東郷町に建設される流通センターは「マツダ自動車東郷流通センター」であり南九州四県（熊本、大分、宮崎、鹿児島）のマツダ車の販売、配車基地となるものであります。現在マツダ車の流通センターは、福岡県須恵町にあり九州全域に配車されていますが東郷センターが操業を開始すると配車に要する時間が大巾に短縮されることとなります。

東郷センターの概要は、常時一八〇〇台の車が保管されるモータープールと、販売会社に引渡す車

の最終点検を行う整備工場が建設されますがその業務の流れは、先ず広島、又は防府工場で生産されたマツダ車を専用船で細島港に陸揚げし、積載車等が東郷センターに搬入点検整備の後、必要に応じて各県の販売ルートへ配車する仕組みになっております。年間取扱台数は約二万台で五日間に一回の割合で二五〇台から三〇〇台が東郷センターに搬入されることとなります。

一月に着工  
十一月操業開始

東郷流通センターの操業開始を昭和五十八年十一月に予定し、現在事業計画の実施をすすめています。五十八年一月に着工し、十一月には「マツダ自動車流通センター」が完成するものと期待しています。又、この事業は東郷町土地

開発公社が担当し完成後東洋工業株式会社へ引渡すこととなっておりますがこの事業の概要は次のとおりです。

東洋工業東郷流通センター建設計画概要

- 一、事業所名 マツダ自動車東郷流通センター
- 二、設置場所 東郷町山陰（中野原地区）
- 三、流通センター概要
  - ア、敷地面積約三七、〇〇〇平方メートル
  - イ、建物面積約一、二〇〇平方メートル（点検工場、事務所）
  - 四、投資金額 約三億円
  - 五、従業員 二〇名
  - 六、業務内容 南九州地区（熊本、大分、宮崎、鹿児島）に対するマツダ車の整備点検、輸送業務



# よりよい給食をめざして

## 学校給食センターの業務運営内容説明

昭和五十一年九月に、東郷町立学校給食共同調理場が開設されてから六周年を迎えました。その間関係者の皆様から深い御理解と御協力によって極めて順調な運営をいたしております。

ここに当センターの概要の説明をいたします。

### (一) 機構について

所長 一 栄養士(東郷中学校)  
 一 調理員六 配送車二台 (配送の業務は民間に委託)

### (二) 給食費について

基本物資であるパン、米飯については国の助成六〇パーセント、牛乳一本に対し国県で五円五十銭の助成措置があるためお陰で安く供給できます。米材料費について諸物価が若干の高騰により五十七年度の給食費は、小学校三一、三五〇円(月二、八五〇円)中学校三七、四〇〇円(三、四〇〇円)の負担となり一食当たり単価、小学校一六〇円七七銭、中学校一九一円七九銭です。

給食センターでは保護者の方より毎月納めていただいております。

ます給食費は、児童生徒の健全育成のため有効に運営したいと思いますが、一番困るのは毎月確実に給食費を納入されない方です。保護者の方々の協力と理解によって完納されるようお願いいたします。

### (三) 学校給食費の負担区分

▽ 一般会計の給食費予算  
 昭和五十七年度予算総額三四、九九八千円

▽ 父兄負担による学校給食費会計予算  
 昭和五十七年度予算総額二七、五五七千円

父兄から納入していただいた給食費は、すべてパン、米飯、牛乳、おかずの材料のみに使用され燃料費、人件費等の維持管理費はすべて町費でまかなっております。

昭和五十六年度の決算が十月七日開催された、共同調理場運営委員会において認定されましたのでその内容をお知らせします。

一、事業報告  
 (一) 物資の買入れ供給に関する事業

### (四) 学校給食費収入及び休食還付金

学校名	人員	収入済額	未納額
福小	138名	4,046,800円	(3名) 32,400円
東小	258	7,633,000	
坪小	96	2,780,100	
越小	33	937,520	
東中	199	6,950,400	(3名) 48,000
坪中	84	2,934,400	
越分校	33	1,161,600	
直納		62,192	
計	844	26,536,012	(6名) 80,400

学校名	人員	還付金	備考
福小	13名	16,225円	
東小	3	2,554	
坪小	2	2,103	
東中	2	3,888	
越分校	2	17,147	
計	22	41,917	

1、政府供給物資  
 牛乳 (一五八、八六〇本)  
 (四、七四九千円)  
 パン (九六、〇四四食)

2、副食材料費(青果、食肉類、豆類、調味料、添加物等)  
 計一〇、五一六千円  
 計一五、九七一千円  
 合計二六、四八七千円  
 二、昭和五十六年度学校給食費会計決算書

(一) 収入の部  
 米飯 (六二、八一六食) 三、四九五千円  
 二、二三六千円  
 脱脂粉乳 (一二五キロ) 二、二二六千円  
 計一〇、五一六千円

(二) 支出の部  
 原材料費 二六、四八七、九一九円  
 休食還付金 四一、九一七円  
 計二六、五二九、八三六円

(三) 差引残金六、一三三、七四七円  
 四、学校給食費収入及び休食還付金(別表)

# もうすぐ1年生

町教育委員会が、昭和五十七年十二月一日現在で調査した、昭和五十八年度の新入学予定児(昭和五十一年四月二日から昭和五十二年四月一日生)は次のとおりです。なお、新入学予定児で名前が載っていない幼児、及び記載名と違っていている幼児の保護者は、教育委員会まで御連絡ください。

(東郷小学校) (学校教育係)  
 地区 就学予定児 保護者続柄  
 小野田 村田 圭子 定 久三女  
 那須 忍 末 吉長女  
 田中 知佐 正 樹長女  
 寺原 仲子 弘 勝四女  
 羽田 英史 和 生長男  
 稲田 実幸 重 行長女  
 山口 隆寛 幸 男長男  
 鶴田 葉子 次 枝長女  
 石田 貴子 幸 雄長女  
 工藤 竜一 文 則長男  
 南 寿栄 公 明三女  
 山本 由佳 秀 子長女  
 寺原 直子 政 美長女  
 黒木 理代 安 司二女

三原 正広 正 二長男  
 中田 卓 憲 一長男  
 内田 優子 勝 利長女  
 塩月 幸樹 憲 一郎二男  
 塩月 浩介 謙 介二男  
 寺田 章子 紋太郎五女  
 佐藤 栄二 健 一 二男  
 黒木 大輔 忠 雄長男  
 黒木 優子 恵美子長女  
 黒木 咲子 義 友長女  
 池田美代子 平 美長女  
 黒木 博 京 子二男  
 田中 則子 保 雄二女  
 羽坂 洋世 卓 三長女  
 高山 智美 重 幸長女  
 三原 妙子 廣 美長女  
 黒木 博文 佐 吉長男  
 奈須 恵美 熊 雄長女  
 那須 隆志 房 男長男  
 井本 高雅 幸 男二男

(坪谷小学校) 岩本百合子 辰子長女  
 仲深 荒砂 隆文 建 一三男  
 酒井 一美 兼 一三女  
 三浦 真人 誠 二男  
 大石 健 喜太男二男  
 中野由加里 文 朗長女  
 矢野スミ子 茂 美三女  
 直野 普 一 長男  
 矢野 理奈 知 二女  
 稲田智代美 守 長女  
 那須 恵美 千 秋長女  
 那須 紀佳 郁 雄長女  
 中竹 咲子 和 政三女  
 矢野 辰彦 和 長男  
 矢野 亜紀 周 長女

(或表小学校) 黒木 大紀 伸 次長男  
 寺迫 活野 里 誓 生二女  
 海野 政文 清 文四男  
 高野 智美 今朝男二女  
 海野 光洋 和 夫二男  
 田代 玲子 正 純三女  
 黒木 雄一 茂 範長男  
 黒木 美佳 穂 長女  
 高尾 龍二 龍 正二男  
 三原 義典 忠 義長男  
 黒木 信代 定 二長女  
 斉野平秀史 隆 史長男  
 矢野 誠 竹 春長男  
 赤松 正秋 勝 行長女  
 黒木 智枝 時 雄三女  
 黒木久美子 春 義長女  
 赤松ゆかり 春 義長女  
 黒木 親男 邦 寛長男  
 黒木 波雄 明 司長男

## 権利義務

五日は、町の成人式です。当日は町の定めた祝日です。国旗を掲げてみんなで祝福しましょう。今年の該当者は、昭和三十七年四月二日から昭和三十八年四月一日までの間に生れた人達で、次のとおりです。

▽八重原 高山哲  
 △田野 沖田肇 矢野佐代子 谷口多岐子 三浦昇一 田原修子 谷口俊子 谷口加奈子  
 △羽坂 甲斐彰重 福田信行 寺原靖 寺原勝法 寺田博志 那須安秋 佐藤浩幸 川崎真由美 黒木恵子  
 △仲深 甲斐倫夫 日吉富貴 岩野幸子 山本昌子 水野威 日高満義 岩杉太 三浦ゆり  
 成人式 バランスとれてこそ一人前

▽坪谷 矢野美保 黒木昌彦 黒木和晃 阿藤順子 酒井千恵子 那須善優 甲斐清文 三浦智子 福田直 稲田一美 矢野良 寺原美智代 吉田和浩 富山博代 海野寛 川島恵智子 那須いつ子 岡村久人 海野浩樹 片江節 矢野良一  
 △越表 海野晴夫 中元実子 河野ゆかり 黒木一男  
 △下渡川 甲斐千枝子 佐伯しず子 甲斐雪美 甲斐しず子 山床信生



点描 (16)

筆助じいさんの生きがい

筆助じいさんは、夏は五時半冬は六時に鈴峰園ホームを飛び出して、巡坂国道沿いの花いじりに出かけます。成願寺下より東郷橋までの間を毎朝花づくりに精出ると十三年、これが筆助じいさんの生きがいでありました。立派な生きがいでありました。誰にでも出来ない生きがいでありました。

この花づくりに手をつけたのが昭和四十三年か四十四年だったと申されてました。

新しい国道は出来たが、この両側に美しい花木を植えたら道行く人がきつと喜ぶであろうと考えたのです。さて花木を植えたいが土が無い、困り果てていた時町の土木課がこの話を聞き、トラック五分の土を運んでくれた。又無名の土木業者がトラック二台分の土を恵んで下さった。筆助じいさん大喜び、早速ホームの猫車を使って土を道の両側に配ったのです。この土配りに三〇〇人星をかけた次は花の種子、花木の苗木、自分の小使銭を使って買入れたものとても及ばない、県土木課がこの話を聞き、花種子を三年間に亘り毎年配布してくれたのです。花木

は自分で見つけ出して植えたものもありました。花が芽をふき、花木が定着したものの、肥料不足、水不足で育ちは悪い。自分で肥料も買って与えた、水もやった。これ等の費用三千元ばかりは使ったでしょうかと申してました。私もこの話しを聞き、鶏糞十俵程筆助じいさんに贈りました。とても喜んで下さったのです。垣を作ることも亦一苦労です。何しろ道路沿いで中学校の子供の通学路です。竹を切って来て垣を作ったのです。縄では見苦しいので色々な紐を使ったり針金を通したりして、どうにか垣が出来ました。私も間伐杉の小木を五十本程贈ったことはありました。花が色々雑多に咲く様になって道行く人々の目を奪わせてくれる様になりました。通学途中で小中学生も花いたずらは一切しなくなりました。子供に与えた影響はとも大きいものがあったと思えます。

筆助じいさんは只黙々と毎朝の日課を続けるだけです。人から褒められなくても、只にこりと微笑みだけで。長年の花づくりが道路を美しくし、人様に美化運動の心を与えた功績は、建設大臣表彰、厚生大臣表彰、県知事表彰、町長表彰と輝いたのであります。八十八才の糸平筆助じいさんは七十才頃病気で死にそこなったのですが、八十八の今日あるは、只

花づくりのお陰でした。と目ぶたのあたりに光るものを私は見おとさなかった。

東郷町社会教育委員 都甲 鶴男

脱税は割に合わない

所得税や法人税などは、納税者が自ら正しい所得と税額を計算して税務署に申告し、納税するという、申告納税制度を採っています。この制度は、納税者一人一人の良心によって支えられている民主的な制度といえます。

申告しなければならぬのに申告しなかったり、誤った申告をしたり、あるいは故意に過少な申告をしたりする納税者に対しては、公平な課税を行うために、的確な調査を行い、正しい申告に改めてもらっています。

脱税をするとは本税はもろろんのこと、重加算税や延滞税を納めなければならぬほか、裁判により徴役刑や罰金刑を受けることもあります。

脱税は決して割に合いません。脱税は犯罪です。納税者一人一人が担税能力に応じて負担しなければならぬ税金を、脱税により不当に免れることは、善良な国民を裏切ることになります。

納税者の皆さん、正しい申告と納税をしましょう。

牧水と坪谷 (9)

塩月 儀市

○母

牧水は母の思い出を次のように記しています。

「私は五才位から歯を病んだ。右も左もむし歯だらけで、痛み始めると果してどの歯が痛むのかわからなくなり、まるで顔から頭全体が痛むかの様に痛んで来た。そんな場合、おい／＼泣きわめいている私を抱いて一緒に涙を流しているのは必ず母であった。私は母の涙を見ると一層に悲しくなり、尚さらに泣き上げたが、いつ知らずそれで痛みを忘れて、泣き疲れながら眠ることが多かった。私の家から十丁ほど川上の方に柿の木淵という深い淵があった。此処も何やらが主が居ると呼ばれた大きな淵で、一方は高い岩の断崖となっていて居り、その上密林中に水神の社があった。母は私だけをひそかに起して背負いながら幾日とか日をきめて其処へ丑の時詣りということをした。真夜中にこっそりと家を出て、田圃路からやがて淵の頭の浅瀬を選んで徒渡り、どうどうという水音をききながらその林の中に入り込む時には私はもう泣くにも

声が出なかった。そうして小さな祠の前で初めて火を点じて灯明をあげ、落葉の積った土の上に私をもひきまづかせ、彼女もそうして共に共に歯の痛まぬ様にと祈願を籠めたのであった。或る時はまた声も枯れ果て、ただしくしくと頬を抑へて泣いていると、母は為かけた仕事を捨てておいて私を背に負いながら針竿を提げて溪へ降りて行った。そうして何か彼が断えず私に話しかけながら岩から岩を伝って小さな魚を釣って呉れた。私は断えず山に入り込んで遊んでいた。この癖を私に植えたのはまさしく私の母であった。彼女は実はそうして山に入って蕨を摘み箱をもぎ、栗を拾うことを喜んだ。蕨汁や栗飯を炊くという以外に摘むこと拾うことが面白かったのである。半日も山の中に居ような時など、彼女は念入りに弁当をつくり、そして小さな壺に酒を詰めて籠の中に入れて行った。そして私を相手に見晴しのいい山の上や深ばたで弁当を使ふのを常とした。」

模範的な口語英語を

去る十一月一日、坪谷中学校に県教育委員会学校教育課の英語指導主事助手のジョンソンAフィリップ先生が訪問されました。先生は、中学校や高等学校の英語を担当されている先生のために模範的な口語英語を紹介し、英語教育の普及向上を図ることを目的としてアメリカから昭和五十六年度に招へいされた先生であります。初めての外人教師の訪問で、生徒も大へん緊張していましたが、外人特有のひげをはやし、終始ニコニコと笑顔を絶やさない指導ぶりに生徒達もすっかり緊張がほぐれ、終

日、楽しい英語の勉強ができました。全校生徒が、楽しくまた大へん有意義であった一日の感想を綴っておりますが、その一つを紹介いたします。

十一月一日の思い出

一年 片江豊春

「ハロウ」と、ろうか、どきどきしながら言った。

今日は、宮崎の遠い所から、ジョンソン先生がこの坪谷中学校に来られた。ぼくたちは、外人と話すのは初めてで、とてもどきどきして、待ちどおしかった。

ジョンソン先生は、りっぱなひげをはやして、とても優しく、うで、ハンサムな先生だった。昼休みは、三年生たちとソフトボールをやったり、サインや名前を書いてやったり、とても楽しい先生だった。

五校時の質問のときが、一番うれしかった。

「日本語は難しいですか?」「イエス、」

と生まれて初めて外国人と話し、答えてもらったのです。その時はもう、とても、とてもうれしかった。本当に、楽しい先生だった。この日は、ぼくにとってわすれられない一日になるだろう。

ふえる商品取引の被害

不況になると、かならず悪徳商法が横行します。第二のマルチ商法といわれる悪質な商品取引です。大豆、小豆、砂糖、金、プラチナの相場に不当な勧誘でひきずりこみます。外国の相場に手を出せることまでおこっています。

悪質な不当勧誘

双葉商事、エイシヨウ、電話や戸別訪問で「必ずもうかる」と言葉たくみに勧誘し、みなさんのふところをねらっています。県内では、双葉商事(大豆、砂糖) エイシヨウ(プラチナ)等の業者から被害者が多数でています。

下記の「だましの手」に「みられるように不当な勧誘で商品取引法違反です。被害者の会は、業者にたいし損害の回復と農林、通産両省に取締りと認可取消を訴えています。素人が相場に手をだすと、一〇〇%損をします。

とらぬ狸の

皮算用

だましの手口は

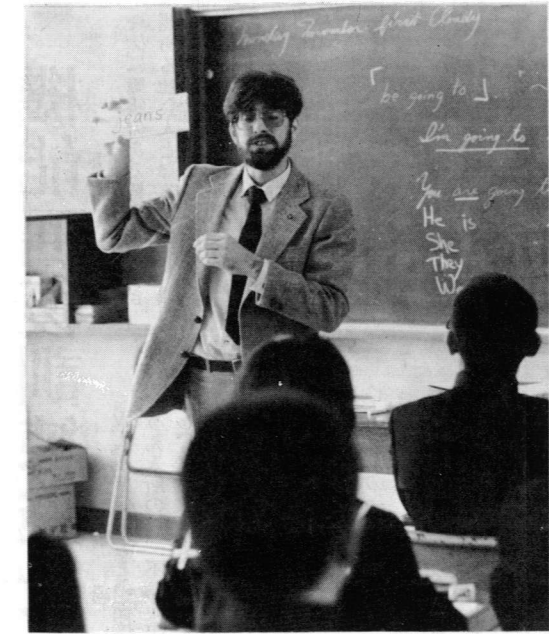
- ・預金は目減りする、うまい利殖の方法がある。
- ・相場の話はせず安心させる。
- ・「絶対もうかる」「損はしない」といって勧誘する。

「利益」がでたときは決済せず損金ができるまでひきずりこむ。・解約を口にするに担当者をかえらる。

「損金」がでると「かならずとりもどせる」と言ってひきずりこむ。

これ以上ひきずりこめないと判断すると「示談書」をとりかわし異議申し立てられないようにする。

被害者の会が確認しただけでも県内被害額は四十四名で、三億円



Welcome Mr. Johnson

# 機能回復訓練施設入所案内

身体に障害のある皆さん、生き甲斐ある社会人となるために、職能訓練や、専門的な機能回復訓練を受けられませんか。

宮崎県身体障害者総合福祉センターでは肢体に不自由のある人を受け入れて、社会復帰を促進するため、それぞれの障害と適性に合った専門的な訓練及び指導を行います。

①入所後の訓練に要する費用

本人及び保護者との面接のうえ入所の適、不適を決定し、2月末日までに本人に通知します。

6 施設の名称及び住所  
名称 宮崎県身体障害者総合福祉センター  
住所 宮崎市大島町北の原一〇三〇の一

②入所者は通所生を除き寮で生活します。(寝具はいりません。)

③その他不明の点は福祉事務所、役場、センターにおたずねください。

1 募集人員及び訓練内容(別表)  
2 入所資格  
身体障害者手帳をもっている人で更生訓練を必要とし、更生意欲があるもの。(入所生は日常生活が自力でできる者...食事洗たく、入浴等)

3 入所期間  
一年を原則としますが、とくに必要なものについては延長して訓練をうけることができます。

4 入所手続  
入所を希望される方は、次の書類を役場住民課福祉係に提出してください。

①入所願書  
②健康診断書(保健所又は公立病院のもの)  
※書類は福祉事務所にあります。  
5 募集期日及び選考  
①願書締切日 58年1月20日  
②選考方法及び決定通知

備考	通所生	施設			授産	更生施設	区
		事務科	和裁科	洋裁科			
① 更生施設入所生も訓練の状況により授産施設に移り、職業訓練も行ないます。 ② 一般教養、訓練、生花、手芸、スポーツ等のクラブ活動も行ないます。	若干名	15名	5名	3名	2名	5名	30名
	それぞれ更生施設授産施設にて訓練	タイプライター印刷	職業訓練			理学及び作業療法、職能訓練等の機能回復訓練	

## 職業訓練生徒募集

延岡総合高等職業訓練校は、主に中学・高校卒者を対象に「高度な技術」を身につけるため「普通訓練課程」(二年制)並びに中高年令者・離職者を対象に「職業転換訓練課程」(一年制)の訓練を行う国の施設で実習に必要な機械器具・教材等が整備されています。

一、中学・高校卒対象 二年制

- 機械科 六十五名
- 板金科 二十名
- 建築科 二十名
- 配管科 二十名
- 電気機械科 二十名

計一四五名

二、中高年令者・雇用保険受給者対象 一年制

- 機械科 二十名

計一四五名

三、願書受付  
中学・高校卒者 昭和五十七年十二月一日から昭和五十八年一月四日まで

四、中高年令者(雇用保険受給者) 最寄りの公共職業安定所に  
四月・十月入校

五、問い合わせ先  
各公共職業安定所又は延岡総合高等職業訓練校  
住所 延岡市土々呂町六丁目  
電話 三〇二八  
三七〇六七五

## 交通事故のご相談はお気軽どうぞ 無料でご相談に応じております

午前9時半～午後4時半(平日)  
土曜日は正午まで  
◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます。  
◎弁護士相談日: 第3木曜午後1時～4時

## 社団法人日本損害保険協会 宮崎自動車保険請求相談センター

宮崎市広島2-5-10 朝日生命ビル3階  
宮崎調査事務所内  
☎0985-28-1199(直通) 0985-24-7921  
(国鉄宮崎駅前200米、二丁目バス停南側)  
電話のご相談もお受けします

## 農地転用は許可後に

農地の所有者が、その所有農地を転用する場合には、農地法第4条の許可を受けることが必要ですが、この許可を受けることにより、農地が直ちに非農地になるわけではありません。許可後住宅建設等の転用行為が行なわれて、その現状が農地以外のものとなった時にはじめて農地法の適用を受けなくなるのです。

他方農地を第三者が転用目的で買い受けあるいは借り受けるには農地法第5条の許可が必要でありこの許可を受けないで売買、貸借は無効であります。知事は、この許可を受けないで転用目的で

売買しあるいは貸借して転用行為を行なったような場合において、土地の農業上の利用の確保、他の公益および関係人の利益を衡量して特に必要があると認めるときは工事その他の行為の中止を命じ、または相当の期間を定めて原状回復その他違法行為を是正するための措置をとるべきことを命ずることができま。

又最近宅地造成等により、土採取についても一時転用の許可が必要になります。

農地の転用は許可を受けてからされるようにして下さい。

## 駐在所たより

### 昭和58年交通安全標語

新年お目出とうございます。今年交通安全の絶滅を願って町をあげて取組みましょう。標語は次のとおりです。

(一)運転者向け  
「思いやり ゆずる心で 防ぐ事故」  
「歩行者・自転車向け 「たしかめて 渡るあなたが子の手本」

(二)子ども向け  
「急いでも きちんと見ます みぎひたり」

安全意識を高めよう

## 親子で走ってみませんか

成人の日を祝い、それぞれが体力に応じて競技に参加し、健康増進と体力向上を目指し、第三回、東郷町成人祝賀ロードレース大会が町陸上競技協会主催により左記のとおり開催されます。

多数御参加下さいませようお知らせいたします。

一 期日 一月十五日(土・祝日)  
二 時間 九時 開会式  
九時三十分スタート  
三 集合場所 東郷小グラウンド

四 コース 東小グラウンドへ大工野、八重原方面  
参加申込先 陸上競技協会事務局 東郷町福瀬 仁田弘幸

申込期限 一月八日(土)まで  
参加料 一人百円(一日保険料) 種目◎一〇〇〇m  
小学校五、六年女子  
一般女子  
一般男子五十歳以上  
◎一五〇〇m

小学校五、六年男子  
中学校女子全  
◎二〇〇〇m  
中学校男子全  
一般男子四十歳代  
◎三〇〇〇m  
一般男子三十歳代  
◎五〇〇〇・一〇、〇〇〇m  
一般男子

※参加申込書 申込については教育委員会社会教育係でも取りあつかっております。  
※小中高校生については、保護者の承諾書が必要です。

## 青協たより

謹んで新春のお慶びを申しあげます。  
日頃より青年団活動にご協力いただきまことにありがとうございます。私たち青年団一同も、皆様のご期待に添うべく活動を続けてまいります。

しかし、会員の減少、経験不足等が皆様にはご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、今年もご指導、ご支援のほどよろしくお願いたします。

東郷町青年団協議会一同

## 行事の結果

青年駅伝大会(11月21日)  
越表の中水流から総合グラウンドまでの12・1kmのコースで行なわれました。沿道のみなさん応援ありがとうございました。

☆優勝 越表(2年連続)  
☆準優勝 羽坂  
☆三位 寺迫A

《区間賞》  
1区 山元文明(越表)  
2区 河野賢一(〃)  
3区 寺原政志(羽坂)  
4区 河野ひとみ(越表)  
5区 楠 釐加(越表)  
6区 安藤広信(寺迫)

## 各地で道路工事

他人にめいわくをかけない、東郷砂利先、切通など各地で道路工事が行なわれています。相手の身になってゆずり合いの精神で...。道路で作業をする人の身にもなってホコリをたてないよう、安心して作業ができるよう徐行しましょう。

昨年は東郷町内において町内の人38名が一時停止違反、はみ出し禁止違反で検挙、警告されています。追野内 地区などで、一時停止の標識があるのに徐行はおろか20キロぐいの速度でつっ走っています。さらに右折する車は、そのほとんどが右寄りに小まわりしています。こういう基本的なルール無視が大なり小なり交通事故へつながっていると感じました。自動車学校へ行ったつもりで安全運転を心がけて下さい。

シンナー等少年の非行を防ごう  
「うちの子にかぎっては」というあまい考えから、夜遊び、不良との交友などを放っておくとあとで泣くのはあなたです。夜、友だちがたずねて来る、帰宅時間が不規則になる、髪型が変わる、服装がだらしない、など非行への前兆なのです。夜、バイクや車でウロウロするのが一番いけないようです。ワルガキになる前に駐在所にでも相談するのが得策です。

# おしらせ



## 更新は早目に

国民健康保険加入世帯で、被保険者証の更新手続きをしていない世帯は、早急に更新手続きをして新しい被保険者証で受診されるようお知らせします。

尚、更新手続きは、古い被保険者証を持参して、住民課・国保係で行って下さい。

## 幼稚園児募集

東郷、坪谷、寺迫各幼稚園の園児を次により募集しますので、入園希望の保護者は、町教育委員会事務局までお申し込みください。(入園申込要領)

### 一 入園資格

町内の通園可能な地区に居住する満四才と満五才の幼児(昭和五十二年四月二日から昭和五十四年四月一日生)、但し坪谷幼稚園については、満五才児(昭和五十二年四月二日から昭和五十三年四月一日生)のみ募集します。

### 二 入園申込

区	第1回	第2回	第3回	受付時間	場所
仲深・坪谷 越表 下渡川	1月10日	2月7日	3月7日	13:40 14:00	坪谷保育所
寺迫	1月11日	2月8日	3月8日	14:00 14:30	寺迫公民館
福瀬・田野 小野田 追野内 鶴之内 羽坂 八重原	1月13日	2月10日	3月10日	14:00 15:00	中央公民館

※二種混合の予防接種は中央公民館で実施する日に、まとめて行います。坪谷、寺迫方面の対象者も今度は中央公民館です。

## 衛生だより

### ◎ 母子健康相談

1月25日(受付9~10時)  
場所 老人福祉館

母子手帳を忘れないようにノ

◎三種混合及び二種混合予防接種

▽三種対象者 昭54年1月1日~56年1月10日までに生れた者

▽二混対象者 満四才以上六才未満で三混未接種の者及び、二才以上で百日咳にかかった者。

以上で百日咳にかかった者。

## 訓練生募集

日向地区高等職業訓練校では次のとおり生徒を募集しています。  
造園科 二〇名 一ケ年 週一回  
園芸科 二〇名 一ケ年 週一回  
二級建築士課程 三〇名 一ケ年 週一回  
建築製図科 二〇名 一ケ年 週一回  
和裁科 三〇名 二ケ年 週二回  
一、入校日 昭和58年4月10日  
二、受付 昭和57年12月20日~58年2月末日  
三、特典 修了者は技能士補資格取得

## 行政相談

国の仕事をはじめ、国鉄、電々公社、専売公社、公庫公団、事業団などの仕事、県・町などの仕事に対する苦情、要望などとりあげて相談に応じております。次の定例相談日は左記のとおりとなっています。当日以外は自宅で受付けています。(電話可)

一、日時 1月18日 9時~15時

二、場所 東郷町老人福祉館

東郷町行政相談委員

山口俊一

## 善意のともしひ

忌明けとして、つぎのかたから町社会福祉協議会へ社会福祉のために善意がよせられました。厚くお礼を申し上げます。  
▽羽坂の小林満夫さんから(トモさん・87才ご死去)  
▽福瀬の山田数広さんから(キヌさん・84才ご死去)  
△小野田の伊藤トシ子さんから(堅四郎さん・62才ご死去)  
▽坪谷の山田典生さんから(萬さん・81才ご死去)

## 心配ごと相談

心配ごと相談を、左記日程により開催いたしますからご遠慮なくご相談ください。  
開設日 (敬称略)  
1月11日 羽坂 甲斐美佐子宅  
1月18日 老人福祉館  
1月25日 野々崎 中野辰巳宅

## 戸籍だより

11月届分  
出生おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	住所
中武俊介	和政	坪谷
池田樹里	一寺	坪谷
塩月里美	良平	福瀬
那浦希満	仲福	深瀬
三須智子	英一	鶴野内
井本和光	留夫	鶴野内
橋口幸司	誠朗	坂内

## 結婚おめでとう

氏名	住所
奈松 須木 輝子	八重原
山本 節子	八重原
新田 丸口 明子	日向市
金橋 照裕	門川町
神部 三治	福野
南園 春千	田野
佐藤 真澄	日向市
矢野 清美	日向市
寺原 健代	日向市

## まちなうごき

人口 6,505人 (-8)  
男 3,125人 (-8)  
女 3,380人 (0)  
世帯数 1,766戸 (+1)  
57年12月1日現在  
( )は対前月比

## ご冥福を祈ります

氏名	年令	住所
山田 萬	70	坪谷
矢野 キシ	84	坪谷
山田 トモ	87	福瀬
小林 堅四郎	62	羽坂
伊藤 藤四郎	62	小野田
黒木 ハナエ	60	追野内
草野 勝男	56	鶴野内
橋口 英雄	56	小野田
徳永 アキエ	65	鶴野内